

期 日 | 2021年2月9日[火]～14日[日]

会 場 | ギャラリー、エントランスホール、茶室「知心庵」、光のパティオ、リハーサル室3

出品者 | 49名

野外彫刻プロムナード展では、2000年よりパティオ池鯉鮒（知立市文化会館）のエントランスロード両側の歩道において、毎年6点ずつ彫刻作品を入れ替えながら展示してきました。記念展 20th PHASE「芸術は出会いからはじまる」では、プロムナード展の歴史を振り返っていただくとともに、作品ひとつひとつを間近で鑑賞いただける機会づくりを目的に、これまでに出品していただいた作家を中心に49名が集い、61点の作品が展示されました。会場には多くの皆さまにご来場いただき、作品をじっくりと鑑賞していただきました。

## ギャラリー



## エントランスホール



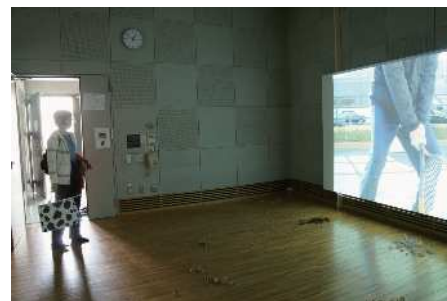
## 茶室「知心庵」



## 光のパティオ



## リハーサル室3





ギャラリー



加藤 真也 KATO Shiya  
「Minimal Identity」 5種類の石  
世界各地の石を20cm角にカットし、そこから削り磨きあげた。同じ制作工程、同じ大きさにしても、各々の石に消し去れない個性がある。



宇納 一公 UNO Kazuhiro  
「ナオミ」 F.R.P.  
学生時代に精確に作ったもので、モデルから受けた印象を逃さずことなくイメージに近い形に出来たと、若い頃の思いを今でも大切にしています。



萩原 清作 HAGIWARA Seisaku  
「裸婦」 石膏  
具象彫刻は、人間(裸婦等)や、生き物の形を通して生命の形を彫塑、又は彫刻という方法、手段、素材によって表現します。



神谷 瑞季 KAMIYA Mizuki  
「Secretariat」 F.R.P.  
制作から8年が経ちました。馬のおかげでまた先生や友だちに会うことができました。この馬がつかいでくれている出会いに感謝します。あの場所での先生とあの友だちとこの馬を作れて本当に良かったです。

森 有希 MORI Yuuki  
「習作『春に漂う』」 銅金、糸  
今まで自分の作品を家に飾ったことがなかったので、生活の中に溶け込むようなものを作ろうと思いました。  
沢山ある刺繍糸の中から、心が温かくなるような色を選びました。



宇納 一公 UNO Kazuhiro  
「機織り池から」 石膏  
池廻りのむかし話の中に、新林町の機織池伝説があります。きつねの周りをテーマにして、反物を巻いている様子を表現してみました。



石川 博章 ISHIKAWA Hiroaki  
「風景の座'20-Sep. 黄セットI (バカ土による陶のフレーム)」 陶、木  
「風景の座'20-Sep. 黄セットII (バカ土による陶のフレーム)」 陶、木  
20年前に出品したブロンズ作品《風景の座》を継承する最新作エスキースです。今回は陶によるフレームという構想で、実際に使う素材であるバカ土(三河土)を使い、黄セットをかけて焼成しています。



浅野 卓司 ASANO Takuji  
「Blow Wind Blow (風よ吹け)」 石  
四角い窓の向こうから吹いてくる風を、あなたはどのように感じますか？明日の風の音を感じるならば、自然と一体となった自分の存在に気づくと思います。



安孫子 夏代 ABIKO Natsuyo  
「小面」 木  
能面との出会い。能面の世界もまた興味深いものです。



米山 朋作 YONEYAMA Housaku  
「彗星」 石膏、紙、ミクストメディア  
せめて彗星の様に一瞬だけでも輝こうとしても、ただただ私になるばかり。



鑄山 麻裕 IKAKEYAMA Mayu  
「コイサギ」 銅  
日本人の生活の中に立体作品が入り込む方法を探しています。用途のあるものであればどうだろうかと考えて作った習作の一つです。背に器のあるものを作ってみました。

鑄山 麻裕 IKAKEYAMA Mayu  
「羊」 銅  
日本人の生活の中に立体作品が入り込む方法を探しています。用途のあるものであればどうだろうかと考えて作った習作の一つです。背に器のあるものを作ってみました。





鬼頭 正信 KITOH Masanobu  
「風の踊子」 銅  
踊子の伸びやかな一瞬の身体を銅の鍛金技法で制作。金属板材の張りのある造形として表現。



鬼頭 正信 KITOH Masanobu  
「RT & RTG」 銅  
「鍛金」技法で使う「当て金」の改良を研究してきた。その現状報告。

池崎 友加里 IKEZAKI Yukari  
「親子」 木  
鳥の親子をイメージして製作しました。顔を寄せ、仲のいい雰囲気表現しています。



小島 雅生 KOJIMA Masaki  
「ふたたび廻る風景」 フロンス鉄  
自由にカタチを成し、手の感覚がそのまま伝わるロウ。約1200度で溶解された、透きとおる程美しいフロンス。これらの素材と「ロウ型石膏鋳造」という技法のチカラをかりて、無意識の中の記憶や心象風景などをカタチにしてみました。



古賀 一弘 KOGA Kazuhiro  
「虹」 木  
いろんな感じ方がある

佐藤 千恵 SATO Chie  
「黄色い花」 陶  
植物の維管束(導管)にスポットを当てています。養分を運び、全体を流れる、それは、人体でいう血管、又社会でいうコミュニケーションツールの様なもの。上手にめぐって、生命維持や社会情勢の安定に欠かせない機能を果たすもの。



近藤 均 kon-kin  
「Story」  
大理石、黒御影石、ベニヤ板  
雨の日に水たまりにできる波紋がとてもきれいで大好きです。その波紋を自身の心の波紋に置き換えて、穏やかな時もあり動揺する時もあります。そんな波紋を人生の物語りとして表現しました。



近藤 均 kon-kin  
「石まんだら」  
大理石、黒御影石、ベニヤ板  
曼陀羅は、密教の根本教典ですが、その宇宙感がとても好きです。下にぶら下がる玉は人間の煩悩です。

近藤 均 kon-kin  
「Spiral 3」  
大理石、黒御影石、ベニヤ板  
SpiralとMöbiusは、私のなかで球も含めてとても重要なテーマです。単純にきれいなフォルムを追求した作品です。



大江 慎一郎 Ooe Shimichiro  
「困ったじいさん」 色紙  
現在は漫画家として活動しているの、その活動の証に。

青島 芳明 AOSHIMA Yoshiaki  
「愚か者の舟」 木  
中世ヨーロッパ、ベスト柄に乗り、舟で地中海に逃げ出した人々の哀れをイメージし、10数年前に構想したもの。現在の世相につながるものとして再構成して発表させていただきます。



宮本 美代子 MIYAMOTO Miyoko  
「妖異心臓」 張り子紙、石膏粘土等  
不思議で異質な家(人形)も心から向き合い、語り合えばどこか愛しいもの。現実と異空間を行ったり来たり、迷いも喜びもすべてが生れの証。もの言わぬ人形に語りかけてみるのもおもしろい。

加藤 恵美 KATO Emi  
「Dear Dad」  
トチ、サクラ、真鍮  
ちょっと前まで何でもしてらっていた赤ちゃんか、いつの間にか何でも1人でできるようになり、「今度は私がやってあげるね」と大人びた顔つきに。エリック・カール作「パパおつきま」とって」へのオマージュです。







石原 秀雄 ISHIHARA Hideo  
「山百合と五芒星」 御影石(作品)、砂岩(台座)  
山百合や 織地獄ある 石彫場



長谷川 厚一郎 HASEGAWA Kouichi  
「私の好きな形」 石、鉄  
イメージの転換。当たり前だと思っていることに疑いを持つこと。



林 幹久 HAYASHI Mikihisa  
「New Awakening」 レジン  
新たな覚醒——それは“今”!!



竹本 鉄夫  
TAKEMOTO Tetsuo  
「箱になりながら歩く男」  
現代の管理社会を箱に置き換え、その箱に  
同化しながら歩く男を表現した。



梅本 洋子 UMEMOTO Youko  
「ひ・み・つ」 F.R.P.  
人と人とのつながりを思いながら作りました。



深田 庸子  
FUKADA Yoko  
「乱反射」 楠、チーク  
人が五感で敏感に反射  
反応しているとき、同じ  
様に無意識下で乱反射  
がおこっている。私は  
そのゆっくりと少しずつ  
変化していく乱反射を  
感じたいと思った。



町野 紗恭  
MACHINO Sako  
「農夫」 セメント  
利害ある自然とともに  
生きる農夫の強さを  
表現しようと思いま  
した。



篠田 美有 Shinoda Miu  
「2020」 油彩、キャンパス  
制限のある不自由な生活、経済的、治安的、健康面の不安を抱え  
ながらも嬉しいこともあった1年を振り返り制作しました。



葉山 亮三 HAYAMA Ryozo  
「Fit fitter fittest」 石膏  
これは石膏の立体手形。自分のものが最もなじむ。しかし、誰かの手にもなじむかもしれ  
ない。見知らぬ誰かと触覚からつながる感覚。コロナ禍にあって、触りあうということは  
難しい。だからこそそのリマインド。



中山 友希 NAKAYAMA Yuki  
左・中央「内と外」 銅版画  
子どもが生まれてから、世の目が違う形  
で気になるようになった。誰かから見え  
ている私の積み重なりと、何にも染まり  
たくない私について考えた。  
右「うさぎ山」 銅版画  
作りたい形を探している途中で。寄り  
道も多いけれど手は動いています。

加藤 マンヤ KATO Many  
「United」 ミクストメディア  
現代の社会のメタファーとして

岡本 真由子 OKAMOTO Mayuko  
「覗き込む石鯨金魚」 インスタレーション、ミクストメディア  
体・技術・関係に生きる私=現実を、彫塑・漫画・ARで活きる作品=仮想に  
写像しています  
本作品は、石鯨金魚(撮ると泡を出す特別な金魚)をテーマに、漫画と  
彫刻がAR上で融合する世界を表現しました。



江村 和彦 EMURA Kazuhiko  
「Oh! I'm...2021」 陶  
古代又は未来か、どの時代にあってもココロニル、ここにいたい、痕跡は意思は消せない。





エントランスホール



加藤 真浩 KATO Masahiro  
「#24」石膏  
自分自身の中に強く残るモノや人物をモチーフにした彫刻を製作しています。



藤田 雅也 FUJITA Masaya  
「大地から-21」石  
石は、大地からの産物であると捉え、「生命」や「誕生」をテーマとした彫刻制作を追究しています。

西村 志磨 NISHIMURA Shima  
「SEED 2020」陶  
自然にあるモノの形はとても興味深いものばかりです。その形からイメージを広げて作品を作っています。



岡村 明 OKAMURA Akira  
「森の記憶」椎  
斜め3方向からクロスする角材が作り出す、凝縮した塊の面白さを試したら、多肉植物のようなギザギザ彫刻ができました。ギザギザが作る光と陰は、想像を膨らませる魅力があります。



永江 智尚 NAGAE Tomohisa  
「丑枕」テラコッタ  
枕でスヤスヤと眠る千支シリーズの「丑年」の作品です。

小栗 絢子 OGURI Hiroko  
「春を待つ」テラコッタ  
裸婦像の連作の中のひとつです。自由な春が待ち遠しいですね。



柴田 茜 SHIBATA Akane  
「地平」石膏  
モデルとなった男性の、たくましさや力強さ、しなやかさを表現したいと思い、制作しました。力強く立ちながら、伸び上がるようなイメージを形にしたいと思い、分量バランスや構成を考えました。



大川 泰平 OHKAWA Taihei  
「勇気と軌跡」木材、その他  
最近の活動報告的な作品です。



加藤 伸之介 KATO Shinnosuke  
「出発!」楠  
2018年度に、知立市内の学校にて1年間おめさせていただいたことがあります。そこで見て、感じた子どもたちの姿や心情、雰囲気私の中で昇華し、私の感情と学校への感謝の意を込めて、構成したフォルムを楠の丸太に造形しました。



永江 智尚 NAGAE Tomohisa  
「暁」P.R.P  
夜半の苦悩から、夜明けに光明が差すまでを男性像で表現。



柴田 茜 SHIBATA Akane  
「お昼寝」陶  
老若男女から愛される作品になって欲しいと考え、昼寝をするシロクマを作りました。彫刻に少しでも親しみを持ってもらえればと思います。

木方 立樹 KIKATA Tachiki  
「Morphic Unit」木、紙、オイル、水彩  
内と外、かたちの物語 廻行としての制作





茶室「知心庵」



赤塚 寛 AKATSUKA Hiroshi  
「種に就きて-golden corn-」 木  
品種改良種と原種をテーマに作品を作りました。

鶴飼 留美子 UKAI Rnmiko  
「キセキ〜森と月と太陽と〜」  
木(トウヒ)、和紙、針金  
人と出会う  
自然と出会う  
物と出会う  
これまでの軌跡  
ここに在る奇跡

町野 紗希 MACHINO Sakyō  
「愛犬」石膏  
愛犬が寝ている可愛らしい  
姿を表現しました。



永江 智尚 NAGAE Tomohisa  
「紐靴に牛」漆  
日常に隠れている十二支たちの連作の一作。



本田 郁子 HONDA Ikuko  
「丑の宴」陶  
毎年、良い年になるようお願いを込めて十二支の動物を制作しています。今年は  
皆で集まれるような楽しい日常が戻ることを願って。



原 歩 HARA Ayumi  
「GIRLS WAR〜カイン・カン カテゴライズ on the TATAMI  
ground〜」ブロンズ  
「GIRLS WAR」をメインテーマに金属鋳造作品をつくって  
います。今回は、茶室という文化絡みの空間で伝統芸(?)  
or 慣習芸(?)とも見える組体模をする女子。臭い蓋を開け  
るような、水を差すような、そんな作品であるといい。



光のパーティオ



松村 明育 MATSUMURA Haruyasu  
「時 toki ori」鉄  
刻々 時間は過ぎて行きます。

リハーサル室3



山本 辰典 YAMAMOTO Tatsunori  
「miniature garden (Chiryu)」 ミクストメディア

出品者一覧 \*50音順

青島芳明	赤塚 寛	浅野卓司	安孫子夏代	鑄山麻裕	池崎友加里	石川博章	石原秀雄	鶴飼留美子	宇納一公
梅本洋子	江村和彦	大江慎一郎	大川泰平	岡村 明	岡本真由子	小栗敏子	加藤恵美	加藤伸之介	加藤真也
加藤真浩	加藤マンヤ	神谷瑞季	木方立樹	鬼頭正信	古賀一弘	小島雅生	近藤 均	佐藤千恵	篠田美有
柴田 茜	竹本鉄夫	永江智尚	中山友希	西村志磨	萩原清作	長谷川厚一郎	林 幹久	葉山亮三	原 歩
深田庸子	藤田雅也	本田郁子	町野紗希	松村明育	宮本美代子	森 有希	山本辰典	米山勲作	